

(1) 本時の展開

手順	学習内容・活動	指導上の留意点・支援	評価規準・評価方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の活動内容 患者とその家族が医療機関に受診し、質問・相談等をお互いが行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者と家族側は、治療を受けたい病院、クリニック、診療所を選び、その理由を説明できるようにする。</li> <li>医療機関側は、前向きに『がん』の治療へ取り組もうとしている患者・家族のグループを選び、その理由を説明できるようにする。</li> </ul>	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロールプレイを開始する。</li> <li>がん患者とその家族のかかわりについて、ある事例を聞くする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6つの医療機関に対し、6つのグループが受診する。最初は、決められた組合せでスタートする。患者に黄色ビブス、医師に桃色ビブスを着用させる。</li> <li>各受診を4～5分程度に収める。</li> <li>適宜、巡回し適切に相談、質問等がされているのか確認する。</li> <li>自分の母親の件と義父の件についてスライドを使用し、解説する。</li> <li>悲観的な捉えにならないように、前向きな寄り添い方としてまとめるように留意する。</li> </ul>	<p>【関・意・態】① がんの治療法や緩和ケアなどについての知識を身につけて、課題解決に向けての話し合いなどの学習活動に意欲的に取り組むことができているか。【観察】</p> <p>【知・理】② がん患者やその家族への理解と共生する社会づくりに必要なことについて、理解したことを発言したり記述したりしている。【観察、学習プリント】</p>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシートへの記入する。</li> <li>次の内容を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者やその家族への理解と共生する社会づくりに関して、学習プリントを基に各グループの意見や考えを聴き、ワークシートにまとめ、理解する。</li> </ul>	

☆6つの医療機関

- (1) 国立がんセンター2人 【医師、看護師】  
⇒【 / 】
- (2) 大学病院2人 【医師、看護師】  
⇒【 / 】
- (3) 県立病院3人 【医師、心理カウンセラーor ソーシャルワーカー、看護師】  
⇒【 / / 】
- (4) 市立病院3人 【医師、心理カウンセラーor ソーシャルワーカー、看護師】  
⇒【 / / 】
- (5) クリニック4人 【医師、心理カウンセラー、ソーシャルワーカー、看護師】  
⇒【 / / / 】
- (6) 診療所4人 【医師、心理カウンセラー、ソーシャルワーカー、看護師】  
⇒【 / / / 】

- 1 医師
- 2 心理カウンセラー
- 3 ソーシャルワーカー
- 4 看護師

## ☆患者とその家族

- 1 患者【 】: 68 歳 母親 がん進行度IV (皮膚癌～リンパ節へ転移～有棘細胞癌<sup>ゆうききよく</sup>～)  
 父親【 】: 68 歳 無職  
 子【 】: 42 歳 会社員・事務職  
 子【 】: 40 歳 公務員  
 孫【 】: 16 歳 高校生
- 2 患者【 】: 65 歳 父親 がん進行度IV (胃癌～肺癌～)  
 母親【 】: 55 歳 無職・パート  
 子【 】: 32 歳 主婦・パート (1 児の母親)  
 子【 】: 19 歳 学生 (理学療法士を目指して専門学校へ)
- 3 患者【 】: 45 歳 父親 がん進行度 I (喉頭がん) 会社員  
 母親【 】: 40 歳 会社員  
 子【 】: 20 歳 大学生  
 子【 】: 16 歳 高校生
- 4 患者【 】: 25 歳 がん進行度 II (乳がん) 会社員(入社 3 年経過)  
 母親 or 父親【 】: 59 歳 会社経営・社長  
 妹 or 弟【 】: 17 歳 高校生
- 5 患者【 】: 50 歳 がん進行度 I (肺がん) 自営業・電気工事関係  
 母親【 】: 40 歳 自営業・会計事務  
 子【 】: 17 歳 高校生  
 子【 】: 16 歳 高校生
- 6 患者【 】: 45 歳 がん進行度 III (大腸がん) 事務職・会計担当  
 父親【 】: 45 歳 会社員・営業職  
 子【 】: 17 歳 高校生  
 子【 】: 16 歳 高校生

名前: \_\_\_\_\_

グループ1

患者: 68歳 母親 がん進行度IV (皮膚癌〜リンパ節へ転移〜<sup>ゆうきよく</sup>有棘細胞癌〜)  
【                           】

治療歴: \_\_\_\_\_

症状: \_\_\_\_\_

父親: 68歳 無職                           【                           】

子 : 42歳 会社員・事務職               【                           】

子 : 40歳 公務員                           【                           】

孫 : 16歳 高校生                           【                           】

高  
校

Q:『緩和ケア』は治療と並行して行われていますか。【患者・家族のみ解答】

Q:どの病院、クリニック、診療所で治療を受けようと思いますか。【患者・家族のみ解答】

また、その理由は。

(1) 児童生徒に対するアンケート

学年 ( ) 年

1) がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

質 問		そう思う	どちらかといえ そう思う	どちらかといえ そう思わない	そう思わない
a	がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。				
b	がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。				

2) がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

質 問		正しい	誤 り	がん教育アンケート様式 記号区分
a	(ア) がんは誰もがかかる可能性のある病気である。			
b	(イ) がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。			
c	(ウ) がんは日本人の死因の第2位である。			
d	(エ) たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、 <small>でまど</small> 適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。			
e	(オ) 早期発見すれば、がんは治りやすい。			
f	(オ) 体の調子が良い場合は、定期的 <small>けんしん</small> に検診を受けなくても良い。			
g	(カ) がんの <small>ちりょう</small> 治療法には手術治療しかない。			
h	(キ) がんの痛みは我慢するしかない。			

3) がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

質 問		そう思う	どちらかといえ そう思う	どちらかといえ そう思わない	そう思わない
a	(ア) 自分はがんにならないと思う。				
b	(エ) 将来、たばこは吸わないでいようと思う。				
c	(エ) <small>ひごころ</small> 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。				
d	(オ) がん検診 <small>けんしん</small> を受けられる年齢 <small>ねんれい</small> になったら、検診を受けようと思う。				
e	(カ) がんの <small>ちりょう</small> 治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである。				
f	(ク) がんになっても生活の質を高めることができる。				
g	(ケ) がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。				
h	(コ) がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う。				
i	(コ) 家族や身近な人が健康であってほしいと思う。				
j	(コ) 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。				

☆何か質問・感想等あれば記入してください。

## がん教育

がん患者を支える家族の一員として...

### 自分の母をがんで亡くしました

•2016年 母親を亡くしました。  
 癌が原因(皮膚癌〜リンパ節へ転移〜有棘細胞癌〜)  
 2015年早春より県外大学病院へ通院・入院を繰り返し、手術、抗がん剤治療や放射線治療を繰り返した。  
 2015年12月末に自宅へ戻る。  
**【2015年3月〜2016年1月】約10か月間ほぼ治療のみ**  
 2016年1月に市内の診療所へ

### 自分の義理の父をがんで亡くしました

•2017年 義理の父を亡くしました。  
 癌が原因(肺癌〜胃癌・腎臓...転移〜)  
 2012年頃、鳥取の病院で肺癌の手術、その後入院を繰り返しながら、胃癌等の転移が診られ、抗がん剤治療や放射線治療を繰り返した。  
**この期間に、本人と家族ができたこと。**  
 2017年1月に市内の診療所へ

義理の父のために...考え、実行したこと。  
 好きな『水墨画展』〜仙人の棲む森〜  
 2017. 9.8〜9. 13



さらに、鳥取市内の診療所において、スタッフ考案の『谷口天山個展』を開催することに…  
 2017.2. 23〜



結果、父の為に始めたことが『支える側』として、多くの方々から新たな「気付き」や「出会い」を受け取り、勇気や希望を頂いた。  
 だからこそ、最後までそばに寄り添うことができた。